

# 6月のスタッフオススメ自然派ワイン♪

※限定品でない場合でも、品切れの際はご了承下さい

【店長 山本恭子のイチオシ♪】 **微泡白・辛口**



スッキリとしたミネラルが心地よい、薄濁りの初夏向き微発泡。お魚、野菜、フリットなどの揚げ物と一緒にスッキリ楽しもう！




★ズガス[2020]  
品種:ガルガーネガ、ドウレツラ (イタリア/ヴェネト州)  
2970円  
イル・カヴァツリーノ

【店長 山本恭子のイチオシ♪】 **微泡白・辛口**



オレンジじゃないけど金柑やピワみたいな苦みの効いた味の超濁り系白の微発泡。生ハムやチーズ、ピザ、グリーンサラダなど用意してイタリアンパーティ♪【吹きこぼれ注意!】キンキンに冷やしてポウルも用意して抜栓を！

★ファレスタ・ピニョレット[2021]  
品種:ピニョレット100%  
(イタリア/エミリア・ロマーニャ州)  
3080円  
マリア・ポルトロツティ

【オーナー 山本和志のイチオシ♪】 **ロゼ微泡・辛口**

微炭酸で、飲み口はとても軽いタイプだけど、後から広がる酸味や旨味がからまって少し複雑な味わいが個性的。酸味と旨味のあるお料理にオススメ。酢豚や豆のサラダ(ヴィネグレット)等と

★ピッコロリベッレ フリッツァンテ  
品種:バルベーラ100%  
(イタリア/エミリア・ロマーニャ州)  
[2018]  
3080円  
カミッポ・ドナーティ

【スタッフ 松本あやイチオシ♪】 **白・やや辛口**



爽快なマスカットやライム、レモンバームのような涼やかな香り。ブドウのジューシー感を存分に楽しめます。冷製の前菜や甘辛いお料理にも。




★プリマ・ドンナ[2021]  
品種:ゲルバームスカテラー100%  
(オーストリア/ニーダーエスタライヒ州)  
2750円  
ヴィーターシュタイン

【オーナー 山本和志のイチオシ♪】 **白・辛口**

白い花のような香り。ほのかな果実味の中心にミネラル感があり暑い日にも食事と美味しく合わせて頂けます。後から広がる旨味や香ばしい味わいも程よく楽しめます。前菜、ピザ、ハーブチキン等と

★フリウラーノ[2019]  
品種:フリウラーノ100%  
(イタリア/フリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州)  
2750円  
ピエールパオロペコラーリ

【オーナー 山本和志のイチオシ♪】 **オレンジ・辛口**

まったりとして濃厚な味わい。軽い飲みの中に、オレンジの風味がほのかにして美味しい。余韻も長く、それだけでもゆっくり楽しめる。豚、鶏のロースト等と、オレンジソースを添えるとさらにgood




★リスペット[2020]  
品種:ソーヴィニヨン90%、リースリング10%  
(イタリア/ピエモンテ州)  
3630円  
リッチ・カルロ・ダニエーレ

【スタッフ 松本あやイチオシ♪】 **赤・ミディアム〜フル**

珍しいボルドーの無添加。口当たりはまるやか。ギュッと凝縮した果実味は、暑くても飲みたくなくなる程に旨味一杯で美味しい。ローストビーフなど赤身のお肉料理と。




★ル・フリュイテ コート・ド・ブル[2018]  
品種:メルロー70%、マルベック30%  
(フランス/ボルドー地方)  
3300円  
ピエール・アンリ・コザン

【店長 山本恭子のイチオシ♪】 **赤・ライト〜ミディアム**

ザ・薄旨系。サラリとした味わいの後、喉元に残るのは旨味だけ〜♪和食と相性抜群！ウニでもイクラでも何でも来い♪




★フリュイドアザール[2019]  
品種:カリニャン、シラー  
(フランス/ルーション地方)  
3300円  
ポッシブル

★オススメワインのライブ配信日は  
6/7(火)の21:00~21:30!



オススメワインの右上のマークについて 以下を満たすワインに「あすラクダ」マークを付けています。  
「黄色」 有機・無農薬栽培のぶどうを使用し、添加物を不使用  
「緑色」 有機・無農薬栽培のぶどうを使用し、添加物にSO2のみ微量添加 (SO2含有量が40mg/L未満)

【ワインのご注文方法】 ~送料~ ~支払い方法~  
お電話、FAX、メール (形式問いません) 全国一律 760円 (沖縄、北海道除く) 15000円以上送料無料  
※詳しくはお問合せ下さい。 ※全てクール便になります。別途330円を頂きます。 銀行振込、クレジット決済 (メールでのご案内になります)

「久々のライブ♪」  
コロナコロナと言っている間にいつの間にか2年が過ぎ、長女も大学3年生になった。この日も大阪出張を兼ねて、大学のゼミの先生と長女との3者面談に行くことに。  
長女とは大学の最寄りの駅で待ち合わせて、大学まで歩くそのちょっとした間に、学校のことを聞き出そうと思っていたが、会うやいなや第一声が、「ヴィクトン、大阪来るんよ!」「へー、日本に来るんじゃ〜」  
ヴィクトンとは、K-popアイドルグループ。ようやく日本でもライブが出来るようになったようで、もう、そこからはヴィクトンのライブの話が止まらない。学校の話は何もしないまま、大学に着いてしまった。  
面談も無事終了したものの、オンライン授業にも興味が薄れ、さらには、2年生で予定していた韓国や英語圏への留学も、どうでも良くなっていった。親としては、何かに熱中できるものさえあればと願う。卒業までの単位が足りないかもしれないという不安は続くが、実は韓国アイドルに熱中できるだけでも親は嬉しい。  
それから2ヶ月後、いよいよヴィクトンのライブの2日ほど前、次女の所へ長女からライブへの誘いの連絡。どうやら1枚チケットがあるらしい。「どうしようか〜?!」と悩む次女に、「せっかくお姉ちゃんが大阪おるのに、行ってくれば?」と私。ヴィクトン推してなかった次女も、姉妹で仲良く?!ライブに参戦。最終の新幹線まで、二人で遊んでたようだ。色々心配はあるけど、このライブが何かのきっかけになってくれるといいなあ。(母の希望的観測) (山本恭子)